

令和4年度 秋田県立矢島高等学校  
第3回学校運営協議会 議事録

【日時・場所】

令和5年2月24日（金）

午後2時～午後4時

矢島高等学校 大会議室

【出席者】

(1) 運営委員

大井 建史	【天寿酒造株式会社代表取締役社長】
庄司 嘉政	【矢島高等学校元PTA会長】
佐々木正純	【矢島体育協会会長、法華宗寿慶寺住職】
佐藤 俊弘	【矢島高校拓道同窓会会長、矢島高校を応援する会監事】
三浦 秀人	【矢島まちづくり協議会会長】
嵯峨 佳苗	【NPO法人鳥海山麓グリーンネット理事長】
佐藤 由香	【矢島高等学校PTA会長】
木内 潤	【鳥海中学校校長】
尾留川 昭	【矢島中学校校長】
武蔵 美佳	【矢島高等学校校長】

(欠席) 茂木雅人、佐藤俊弘、佐藤知美、山口晃治、佐藤俊弥

(2) 矢島高等学校 [事務局]

淀谷 誠也	【教頭】
高橋 晃二	【教諭 (総務部主任・WG3委員長)】
佐藤 久男	【教諭 (教務部主任)】
黒木 育子	【教諭 (進路指導主事)】
湊 裕朗	【教諭 (特別活動部主任・WG1委員長)】
片桐 博美	【教諭 (保健主事)】
大石 敏孝	【教諭 (2学年主任)】
月本 晴子	【教諭 (3学年主任)】

(欠席) 丸山隆、鎌田勉、土田伸也、佐藤俊治

## 【次 第】

### 1 開会（事務局：淀谷教頭）

### 2 校長あいさつ

今年度も新型コロナウイルスの影響で様々制限のある中での学校運営ではあったが、3年生については、19名全員が進路を決定することができた。

（内訳は、就職14：県内11、県外3、進学5：専門学校5）

部活動においては、バドミントン部の3年菊地美翔さんが県民体育大会2部少年女子シングルスで優勝、1年の武田翔さんと高橋未来矢さんのペアが全県新人大会2部男子ダブルスで3位、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクール中央地区大会中高合同の部で銀賞という成績を残した。また、秋田県高等学校生徒商業研究発表大会において準優勝し、秋田県代表として三大会連続で東北大会に出場を果たし、優良賞をいただくことができた。

この後の協議で学校評価アンケートについての説明があるが、「子どもを矢島高校に入学させてよかったか」という問いに対して、回答した保護者48名のうち45名（93.7%）が、「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答している。

令和5年度入学者の高校入試については、1次募集と2次募集があり、1次募集の学力検査は3月7日（火）、2次募集は3月22日（水）の実施である。1次募集は12名の出願があった。2次募集で出願が増えることを期待しているところだが、入学者数の確保については本校の大きな課題である。由利本荘市内の中学生の数が年々減少しており、特に近隣3中学校（矢島中・鳥海中・由利中）の3年生が来年度は激減する。一番大事なことは、入学してくれた生徒一人ひとりに対して、きめ細かな指導をして、その生徒たちが、矢島高校に入学してよかったと思って卒業していってくれることだと思っているが、入学者数を増やしていくためには、今後、さらに検討を進め、中学生に対してもっと大きなアピールをしていかなければならないと考えている。

給食については、由利本荘市教育委員会に検討していただいているところである。現状では、令和5年度中の給食提供は困難であるとのこと。令和6年度の小学校校舎開設に合わせ、可能かどうか検討、調整中である。

### 3 学校運営協議会会長あいさつ

高校生の就職については、金の卵ともてはやされる状態である。TDKの事業拡大や鳥海ダム建設、風力発電設備の設置に伴う雇用など、人手が要るが、海外からの人材は円安のため集まらない状況となっている。矢島高校の良さを発信するとともに、上手に人と付き合い協力し合う生徒の育成が期待されている。

### 4 出席者紹介（事務局：淀谷教頭）

### 5 協議

※これより議長は大井会長

#### （1）協議 1 学校評価

##### ①学校評価分析

資料（「令和4年度学校評価（集計結果）」、「学校評価分析」）に基づき、教頭が説明。

##### ※質問・意見

委員（佐藤俊弘）：資格取得について、どのように進めているか

進路（黒木）：受験スケジュールに基づいて生徒に勧め、取得者一覧を校内で公開している。受験に当たり、授業だけでなく補習を行って取得を進めている。

委員（庄司）：資格の内容は、適当かどうか。進路に沿っているか。

進路（黒木）：必ずしも企業が欲している資格と一致するとは言えないが、学校での学習を踏まえた資格を勧めているので、勉強の証となり得る。

委員（庄司）：英語は実用英語技能検定以外に取り組んでいないのか。企業ではTOEICを重視する傾向があるので、検討してほしい。

会長（大井）：Word、Excelといった王道なものはプラスになる。

熱心に取り組んでいるかどうかをみられるので頑張らせてほしい。

##### ②各分掌の取組について

資料（「令和4年度分掌経営評価シート 年度末評価」）に基づき、分掌の取組内容や自己評価について各分掌主任が説明。

## ※質問・意見

委員（佐々木）：中高併設の校舎において、避難訓練はどのように行っているか。

総務（高橋）：中学生も同時に訓練している。

委員（庄司）：授業の工夫とは具体的にどのようなことを行っているか。

教務（佐藤）：生徒がお互いに考え、説明し、協力し合う場面を設けている。

委員（庄司）：入退室検定とはどのようなものか。また、マニュアルはあるか。なければ、ある程度基本的な事項を定めて指導させるのが良いと思うがどうか。

進路（黒木）：職員室の入退室を想定して2年生が1年生を指導する本校独自のスタイルである。マニュアルなしで指導しており、うまくいっている。

委員（尾留川）：進路は生徒の希望通りになっているか。また、入学後の進路希望の変遷はどのような状況であるか。

進路（黒木）：進学、就職ともにほとんどの生徒が希望通りの道に進んでいる。入学時の進路希望から大きく変わる生徒は少ない。

委員（庄司）：学習会とはどのような活動か。

2年部（大石）：定期考査直前の3日間程度、放課後の自学を見守り、適宜支援している。

## （2）協議2 次年度に向けて

- ・各WGから  
→資料の通り
- ・次年度の学校運営協議会年間計画について  
→資料の通り

## 6 諸連絡（教頭）

「学校評価用紙」の提出について

「学校運営協議会に係るアンケート」の提出について

※提出期限 令和5年2月28日（火）まで

## 7 閉会（事務局：淀谷教頭）

以上